

あけましておめでとうございます！
今年もよろしくお祈りいたします！！

■ 第三十七回目の協議会の概要

第37回協議会が12月11日に開催された。今回は地域の方々、消防署職員の方々、横浜国大の教員・学生などを含め、31名の参加があった。今回の協議会では主に、和田町で現在進行中のプロジェクトの現状報告や協力要請のほか、べっぴんマーケットの反省や活動報告、消防団員の活動報告や団員募集の案内など、地域の防災に関わる議論が行われた。

■ 欄干緑化プロジェクト進行中！

和田町ではヒートアイランド対策としてすずかぜ舗装、打ち水大作戦、欄干緑化が行われています。その中から和田橋の欄干緑化について紹介します。町内会の遠藤さんと近藤さんによると「欄干緑化は当初、クズ（マメ科植物）を植えていた。しかし水やりなどの管理がされずに枯れてしまったり、ツルを這わせるネットがはがれ通行人の方の足に引っかかったりと問題があった。そんな中、商店街の村上さんから花を植えてもらえないかとの要望があり、今のようにきれいな花が咲く欄干（写真右上）になっている。今年の冬は、花を絶やさないよう管理を続ける必要がある。」とのこと。和田橋がまちのシンボルとなるような色鮮やかな橋となることを期待したいと思います。



和田橋の欄干。
色とりどりの花が咲いています。



ボランティアの方だけでも300人！！
大好評のダンボふれあいバザー。



宇多村君の華麗なパフォーマンス。
魅せるべっぴんマーケット。

■ 毎年恒例ダンボふれあいバザー開催！

去る11月23日に第18回ダンボふれあいバザーが開催されました（写真右中）。好天に恵まれた今回、開催直後から多くの人が集まりバザーは大盛況。地域作業所ダンボ職員・原田さんによると「地域作業所の運営は地域に任されている。今までの地域との交流活動により、地域作業所ダンボがある程度地域に開かれてきている。また障がいを持つ方と子どもたちが交流することで互いに良い影響を与えられるのではないだろうか。地域で福祉を考え、支えるため、ふれあいバザー等の交流活動を通じて地域に根ざしさらに開いていくことが必要である。」とのこと。なお、バザーの収益金は、ダンボ活動資金、神奈川子ども未来ファンドへの寄付や地域還元として利用されます。

■ 今年最後のべっぴんマーケット

去る11月29日にべっぴんマーケットが開催されました。16回を数える今回、ローゼン前のステージでは恒例の和太鼓演奏、また振り込め詐欺への注意を呼びかけるキャンペーンなどが行われ、地域の方々の注目を集めていました（写真右下）。地域の方からは「ローゼンが閉まって和田町商店街が寂しくなったと思っていたが、ダンボバザーやわだまち★カフェなど、イベントが多く活気づいている。」との声も。次回のべっぴんマーケットもお楽しみに！！

編集後記
11月のイベント、ダンボふれあいバザーとべっぴんマーケットは好天に恵まれ、多くの人が集まり大盛況でした。べっぴんマーケットでは和田べんプロジェクトも出展し、お弁当は完売、わだまち大捜査マップと題したパネルの方も皆様からの意見を多数お寄せ頂き、大変ありがとうございました。年内の発行は今回で最後なので、少々早いですが良いお年を！

来年もよろしくね
和田べんプロジェクト

